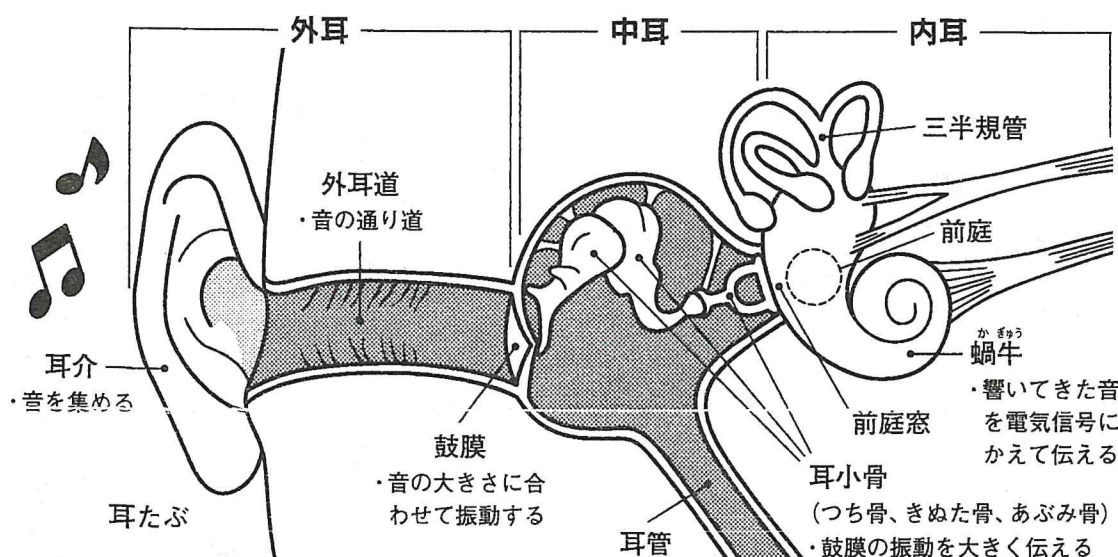


3月3日は耳の日

耳のしくみと働きの話

3月3日は耳の日です。耳は音を聞く働きのほかにも、体のバランスをとる働きをしています。このような大切な働きをしている耳のしくみや働きについて、お子さんと一緒に考えてみませんか？

耳のしくみ



外耳

外耳は、耳介と外耳道から成り立っています。耳介は音を集める働きをしています。外耳道は、耳介で集められた音の通り道です。

中耳

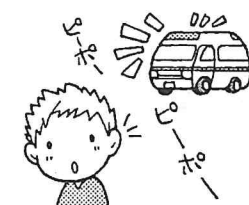
中耳は鼓膜や耳小骨（つち骨、きぬた骨、あぶみ骨）などから成り立ちます。外耳道を通った音は鼓膜を振動させ、鼓膜の内側にしている耳小骨を振動させて内耳に音を伝えます。

内耳

内耳は三半規管や蝸牛などで成り立っています。蝸牛では中耳から伝わった音を高い音、低い音にわけて脳に伝えます。また三半規管、前庭で体のバランスを保つ働きをしています。

耳の働き

音を聞く



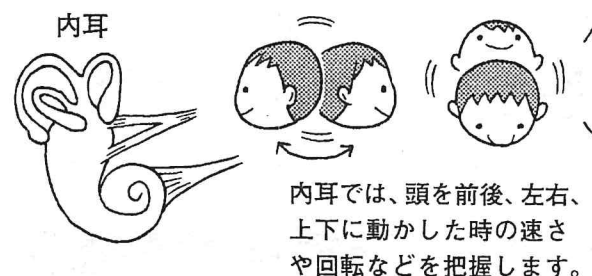
音は空気の振動として耳に届きます。耳介によって集められた音は、外耳道を通り、鼓膜を振動させます。鼓膜に届いた振動を、耳小骨で大きくして、蝸牛に伝えます。蝸牛では、振動を電気信号にかえて、脳に伝えます。この信号を脳が音としてとらえているのです。

なぜ耳は2つあるの？



耳が左右についているのは、音がする方向を知るためです。左右の耳は別々に音を聞き取っていて、音から近い方の耳には、遠い方の耳より少しだけ音が大きく聞こえることで音のする方向がわかります。

バランスをとる



内耳では、頭を前後、左右、上下に動かした時の速さや回転などを把握します。

耳の奥、内耳にある三半規管と前庭で体のバランスをとる役割をしています。バランスをとるのは、耳以外に頭（小脳・脳幹）と目が関係しています。メリーゴーラウンドなどに乗った後に、めまいがするのは、おもに耳が刺激されるためです。しっかり前の景色を見ているとある程度抑えられます。これは目がバランスをとるのに関係しているからです。

耳掃除の頻度はどのくらい？



耳あかには、乾性耳垢（粉耳）と湿性耳垢（あめ耳）の2つのタイプがあり、人によってタイプが違います。乾性耳垢は、耳かきでかき出すように、湿性耳垢は綿棒でぬぐい取るようにします。耳あかが完全に詰まってしまうと聞こえに影響します。2～3週間ごとに、耳掃除をするようにしましょう。

3月1日～3月7日は子ども予防接種週間

3月1日～7日までの7日間は「子ども予防接種週間」です。予防接種に関する取り組みが、医療機関や各地域の予防接種センターにおいて実施されます。

進級・入学をひかえた時期でもあります。母子健康手帳で接種漏れがないかを確認しましょう。

